

企画提案書

事業名	新潟うまいものフェア	
取扱品目	新潟産えだまめ、にいがた和牛ほか	
1 事業内容とその実施方法		
(1) 事業概要		
① 新潟県産食材の旬の時期に合わせて「新潟フェア」を開催し、喫食機会を提供（または県産食材を販売）する。		
② 産地見学を実施して生産者のナマの声を聞き、その内容を当社ホームページに掲載して、食材へのこだわり等を紹介する。		
(2) PR の内容・手法		
① 地元の情報誌「〇〇〇」で「新潟フェア」を告知する		
② プレスリリースし、マスメディアの取材を促す		
③ 「新潟フェア」のチラシを作成し、エリアを絞って新聞に折り込む		
④ 産地見学の様子を SNS に投稿し、新潟フェアへの関心を喚起する。		
(3) 使用を予定している県産食材		
新潟産えだまめ、にいがた和牛、にいがた地鶏、帛乙女（さといも）、やわ肌ねぎ等		
2 実施スケジュール（実施時期 等）		
① 「新潟フェア」開催時期：令和 7 年 9 月 1 日～10 月 31 日		
② 産地見学及び「新潟フェア」の告知等は開催の 1 カ月前を予定		
3 予算額（千円）		
(1) PR 経費（印刷費・情報発信費等）	〇〇〇千円	※積算内訳は、様式（2-2）に記載のこと。 ※企画の規模は 20 万円以上とすること。
(2) 商品開発経費（商品サンプル費等）	〇〇〇千円	
(3) 旅費交通費（産地見学・生産者旅費等）	〇〇〇千円	
(4) その他の経費	〇〇〇千円	
総額	〇〇〇千円	
4 目標及び期待される成果		
掲載予定の情報誌の読者層は 40～60 歳代の「食へのこだわり」が強い方が多く、「新潟フェア」を通じて、新潟県産食材を身近に感じてもらうとともに、新潟のおいしい食文化を知っていただくことで、新潟県産食材のファン拡大につながる。		
5 将来的に目指す方向性等		
次年度以降も「新潟フェア」を継続して開催することで、新潟県産食材への評価が高まり、ひいては「新潟」に対する好感度向上の一助とする。		
6 【該当者のみ】前年度との違い、発展させたポイント		
今年度は、フェア開催期間を 2 か月に拡大し、喫食機会を増やし、新潟県産食材のファン拡大につなげる。また、産地見学の様子を SNS に投稿し、新潟フェアへの関心を喚起することでフェアの告知を強化するとともに、新潟県産食材のファン拡大につなげる。		